

News

開催報告

## 徳島県持続可能な社会を目指した 「国際連携ネットワーク」会議開催

令和3年10月27日(水)、JRホテルクレメント徳島4Fクレメントホールにて、徳島県持続可能な社会を目指した「国際連携ネットワーク」の会合が行われました。会合の開催は、令和2年2月21日の設立以降、第3回目となり、16名中15名の委員が参加（オンライン含む）されました。

今回の会合では、徳島県・消費者庁新未来創造戦略本部の取組について、それぞれ平井委員（徳島県危機管理環境部消費者暮らし安全局長）・石川委員（消費者庁新未来創造戦略本部総括室長）から説明を行った後、

- ・「とくしま国際消費者フォーラム2021等について」
- ・「今後の徳島県の国際展開について」のテーマに沿って意見交換を実施し、アフターコロナを俯瞰したデジタル社会における、今後の消費者政策の在り方について、委員から新たな提言がありました。

### 【TIS委員の意見概要】

- 徳島県を世界の消費者政策の拠点へ（国際連携ターゲット）
  - ・引き続き、ASEAN諸国をはじめとした国際連携を深めるべき。
  - ・SDGs先進国である欧米も合わせてターゲットにすべき。
- 発信力の強化
  - ・国際フォーラム開催等を通じ、徳島県の先進的な取組を更に発信するべき。
  - ・若者による発信が大事（海外、県内大学生によるSNS活用など）
  - ・動画や英語による発信などにより、海外へのPRを強化すべき。
- 国際消費者フォーラム
  - ・今後も継続して開催すべき。
  - ・オンライン交流事業と連携し、海外と県内の大学生によるセッションを追加すべき。
  - ・フォーラム参加者に消費者団体・事業者側を加えてはどうか。
- 消費者教育の国際連携
  - ・ASEAN諸国の大学とのオンライン交流を更に進めるべき。
  - ・オンライン交流事業は全国でも例がなく、非常に独自性のある取組
  - ・継続することで、大学間の交流も深まる。
  - ・自治体や事業者間の交流も進めるべき。

会議の議事録等は、徳島県ホームページ  
(<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippanokata/kurashi/shohiseikatsu/7202655/>) からご覧ください。

